

県教育委員会の

国際教育交流

について

県教育委員会では、教育振興基本計画に掲げる「世界を舞台に活躍する人材の育成」を目指し、その取り組みの一つとして、子どもたちの国際感覚や多文化理解の向上を目的とした国際教育交流を推進しています。本号では、県立成田国際高等学校の取り組みを紹介します。

県立成田国際高等学校

成田国際高校が、姉妹校であるアメリカのJ・F・ケネディ高校（以下 JFK）の生徒14名と先生2名を6月8日（木）～15日（木）の期間に受入れ交流を行いました（全体での交流は4日間）。成田国際高校にとって、姉妹校の受入れは4年振りとなります。JFKの生徒たちは、成田国際校の生徒宅にホームステイをしながら教育活動に参加し、日本の高校生と共に様々な体験をすることができました。

6/9（金）1日目

最初は JFK の生徒たちに時差ぼけの様子も見られました。午前中は、成田国際3年生の国際交流委員が JFK の生徒に校内を案内し、その後は授業に参加しました。午後は PTA 国際教育委員会の皆さんのご協力の下、Welcome Party を実施し、JFK、成田国際の生徒、先生方等で盛り上がりました。



一人ずつ自己紹介をする JFK の生徒たち



吹奏楽部や箏曲部の演奏で歓迎



レクリエーションでは大盛り上がり

6/12（月）2日目

日本の高校の授業に1日参加し、様々な体験をしました。特に英語の授業では、成田国際校の生徒が日本文化を紹介し、JFKの生徒にとっては日本を知る機会となりました。



7名の JFK 生徒が各グループに分かれて活動を行いました



成田国際校生徒が持ち寄ったアイテムをもとに日本文化を紹介



クラス全体で写真撮影

6/13 (火) 3日目

午前中は授業に参加し、午後は日本の伝統工芸・文化を体感できる「飴細工体験」と「茶道体験」に参加しました。飴細工体験では、講師を招いて JFK 高校の生徒に伝統工芸を紹介しました。



講師の説明を聞いて
飴細工を作りました



茶道を通して
「おもてなしの精神」を学びました



日本の伝統工芸・文化を体験
することができました

6/14 (水) 4日目

最終日は午前中に授業を受け、午後は JFK の生徒のみで振り返りを行いました。その後、最後のホームルームでは、JFK の生徒が所属する各クラスで、クラスメートを前に挨拶をしました。

放課後は剣道体験を行いました。成田国際高校では、剣道の授業にも力を入れており、全生徒が稽古着や防具を着用して授業を行います。今回は剣道部の生徒が中心となって JFK の生徒に剣道を基礎から教えました。



日本について、想定内のことと
想定外のことをまとめました



グループを交換して、
他のグループの発表を聞きました



JFK 高校の生徒が作成した
振り返りシート



初めての稽古着に感動



剣道部の生徒による指導



最後は全員で写真撮影

今回の交流は成田国際高校と JFK 高校の生徒にとって、大変有意義な時間となったようです。JFK 高校の生徒たちは 6 月 15 日 (木) には、ホームステイ先の家族や成田国際高校の先生方に見送られ、次の滞在先へ向かいました。

お問い合わせ先：企画管理部教育政策課 政策室 電話 043-223-4177